

【8月号特集案内 IPEC-Sapporo 2010】

ゲストエディタ IPEC-Sapporo 論文委員会共同委員長 佐藤 之彦 (千葉大学)

2010年6月21日～6月24日の会期で、札幌市の札幌コンベンションセンターで電気学会産業応用部門主催のパワーエレクトロニクス国際会議 International Power Electronics Conference (IPEC-Sapporo 2010) が多数の参加者を得て成功裡に開催されました。このIPECは、1983年に初回が開催されてから、2回目の1990年以降5年ごとに開催され、今回が6回目となります。また、今回から、日本、中国、韓国のパワーエレクトロニクス関係の学会が主催して国際会議を輪番で開催する枠組みである ECCE-Asia の一環として位置づけられるようになりました。

今回のIPEC-Sapporoには、40の国と地域から653件のアブストラクトの投稿があり、厳正な査読を経て、最終的に417の論文が発表されました。IPECには、質の高い論文が多数投稿されることから、前回2005年のIPEC-Niigataに引き続き、産業応用部門誌の2011年8月号に英文論文特集号を企画することとなりました。会期中に参加者に対して投稿を呼び掛け、IPEC-Sapporoでの発表論文をもとに、当日のディスカッションなどを踏まえて、加筆、再構成などを施した論文の投稿を募りました。この特集号への投稿論文は、産業応用部門誌の通常の査読プロセスで厳正に採否が決定されました。

この特集号は、現在のパワーエレクトロニクス関係の最先端の研究成果を集約すると同時に、今後の新しい展開を考える上での示唆に富んだものとなったと考えております。特集号を発行するにあたり、論文を投稿いただいた国内外の著者の皆様、査読にご尽力をいただきました皆様へ感謝の意を表します。

編集後記

暑さも盛りとなり、各所での節電や休日就業などによる電力使用のピークカットも一層重要になっており、皆様もご苦労されていることと思います。震災からの復興と原子力発電所事故の早期鎮静化を願ってやみません。

今月号の巻頭言では、産業応用部門編修長の竹下様(名古屋工業大学)に、論文誌における最近の活動と今後の方針についてご紹介いただきました。

技術開発レポートでは、東芝の石井様、野村様より、超電導を利用した電力貯蔵装置についてご紹介いただきました。電力供給状況が不安定な折、電力の安定利用に役立つものと期待されます。

研究グループ紹介では、芝浦工業大学の藤田先生、大川先生に電力システム研究室をご紹介いただきました。スマートグリッドを具現化するときに問題となる様々な技術課題に取り組み

ており、こちら新しい電力供給システムの実用化において大きく期待されます。

9月に琉球大学で開催される産業応用部門大会の開催案内を掲載しています。皆様の参加をお待ちしております。

また、調査専門委員会および協同研究委員会の委員の公募、国際会議情報についても掲載しておりますので、ぜひご確認ください。

最近の技術報告リストも掲載しております。ご活用いただければと思います。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、本号作成にあたり各記事をご執筆いただきました皆様、編集作業にご協力いただきました皆様に心より厚く御礼申し上げます。

エディタ 江尻 光良(明電舎)

※ 本文中の E-mail アドレスをご利用になる場合には、“(at)”を“@”に置き換えて下さい。